

# 北山城跡 第2次 (No.13)

## 2区の調査概要



### 調査前の様子 (赤の範囲が2区)

2区は1区と3区の間にある斜面です。今回の調査は城跡の調査ですから、このような斜面にも防御のための施設が造られている可能性があるため、発掘調査を行いました。



### 地滑りの痕跡 (青の範囲)

調査の結果、北山城が使用されていた頃(中世)の遺構・遺物は確認されませんでした。この結果は、城の範囲や構造を考える上で重要な手がかりといえます。さらに、調査前の地表面の観察や測量では捉えられなかった小規模な地滑りの痕跡が2か所見つかりました。地滑り跡のくぼ地からは、弥生時代末～古墳時代初頭の土器の破片が数点出土しました。丘陵の上では斜面ぎりぎりまで、同時代の集落跡が広がっていることから、そこで使われていた土器が流れ込んだものと思われます。



### 4区の調査にむけての準備

現地説明会と前後して、2区の調査は終了しました。次は4区の人力による調査に入ります。写真は4区の調査区内にベルトコンベアを設置しているところです。

重機による表土掘削の段階では、竪穴住居が数棟みつかっています。今後の調査の進展にご期待下さい。

### 【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

電話番号: 059-363-3195/ファックス: 059-363-3196

E-mail: [maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)

担当: 勝山孝文・矢田陽・宮原佑治